

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-6-3 空港・港湾の維持・整備
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課長 奥村 恭	電話番号	0852-22-5228
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	空港機能保持事業		
目的	(1) 対象	空港利用者	
	(2) 意図	施設や設備が適切に補修・更新されることにより、空港施設の機能が良好に保持されている状態。	
事業概要	空港基本施設の更新、灯火電源設備の更新、灯火ケーブル等の更新、空港保安施設の補修などを行い、民間に供用する空港機能を保持する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	空港施設の供用率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	(空港供用日数－空港設備の不備による空港非供用日数) / 空港供用日数	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%	
		達成率		100.00	100.00	100.00		%	
指標名	式・定義	空港施設の供用率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	237,088	573,867
うち一般財源(千円)	137,528	80,427

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

空港設備の不備による空港を供用しない日は発生していない。  
滑走路等の基本施設、航空灯火関係施設や保安施設は経年による老朽化が進んでいる。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

出雲空港の老朽化したエプロンの一部を改良し、機能を回復することが出来た。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
老朽化が進む空港施設・設備等や車両の更新に多額の費用が必要
- ②困っている状況が発生している「原因」  
滑走路等施設の補修は、調査判定後から事業完了まで数年の期間と多額の費用を要することから、予算が追いつかない。  
施設・設備の老朽化が同時期に重なり、まとめた対応が出来ない。
- ③原因を解消するための「課題」  
計画的な補修・更新をおこなう。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

調査を行ない、老朽化の状況を把握し、計画的な補修・更新をする。  
故障などの発生状況等を把握し、延命を図りつつ適切な更新をする。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）